

交渉の現状・経緯

- 日中韓サミット(2012年5月)の成果を受け、2012年11月に交渉開始を宣言。
- 現時点までに、物品貿易、投資、サービスを始めとする幅広い分野のルールについて交渉を実施。
- その間、日中韓3か国を含むRCEP協定(同様に2012年11月に交渉開始を宣言)は交渉を妥結し、2022年に発効。
- 日中韓FTAでは、いかにRCEP協定よりも高いレベルのルールを含めるかが焦点となっている。

<これまでの経緯>

- 2012年 5月 日中韓サミット(於:中国・北京)において、日中韓FTAの年内の交渉開始につき一致。
- 2012年11月 ASEAN関連首脳会議(於:カンボジア・プノンペン)の機会に、日中韓FTA交渉の開始を宣言。
- 2013年 3月 第1回交渉会合を開催(於:ソウル)。
- 2019年 4月 第15回交渉会合を開催(於:東京)。
- 2019年11月 第16回交渉会合を開催(於:ソウル)。 (※その後交渉会合は実施されず。)
- (※2022年1月 RCEP協定が発効)

2013年3月
第1回交渉会合(於:韓国)

2019年12月
第8回日中韓サミット

2024年5月
第9回日中韓サミット

(交渉会合が実施されず。)

2012年5月 年内の交渉開始
につき一致

2012年11月 交渉の開始を宣言
(ASEAN関連首脳会議)

2019年11月
第16回交渉会合(於:韓国)

●第9回日中韓サミット共同宣言(仮訳抜粋) 2024年5月27日(於:韓国)

我々は、日中韓自由貿易協定(FTA)の基礎となる地域的な包括的経済連携(RCEP)協定の透明性のある、円滑な、及び効果的な履行を確保することの重要性を確認し、独自の価値を有する、自由で、公正で、包括的で、質の高い、及び互恵的なFTAの実現に向け、交渉を加速していくための議論を続ける。